

令和7年度市川三郷町総合戦略中間検証

事業概要	評価項目	評価基準	全検査委員								検証委員意見・評価等		
			委員A	委員B	委員C	委員D	委員E	委員F	委員G	委員H			
町図書館活用事業 (生涯学習課 町立図書館係)	事業の進捗状況	A	KPIの達成に向けて事業が推進され、十分な効果があった。(良好)		○					1	B	●和紙、印鑑、花火など町に根付いている地場産業や地域の歴史に関する資料を増やしたり、これに関連する企画を実施して、町民の郷土愛を深める取組を推進していくことを期待したい。	
		B	KPIの達成に向けて事業が推進され、相当程度の成果があった。(概ね良好)	○	○	○	○	○	○	○		●人口減の中、貸出冊数は健闘しているのではないか。時期に合わせたテーマ展示も良い。以前、調べ物の相談に職員の方が親切に対応してくれた。	
		C	KPIの達成に向けて事業が推進されたが、成果が不十分であった。(必ずしも良好とは言えない)									一方、建築的な問題だが図書館入口までの動線が非常に悪い。建物の入口を入り、無機質で薄暗い中を奥へ向かい、左を向いて図書館入口となり、さらにドアが閉じている。初見の人は入るのに勇気がいるし、図書館の存在に気づかない可能性もある。なので例えば、建物の入口を入ってすぐの場所に本を効果的に並べ、知的好奇心を刺激するインテリア(地球儀や化石、アートや写真など)を飾って図書館入口へいざなう。また、体育館利用者に訴求できるよう、体育館への通路などにスポーツやヨガ、人体などの本を置くのも良い。行動経済学や視覚デザインの要素を参考に。	
		D	KPIの達成に向けて今後の事業の推進を期待する。									●展示物については昨年と比較し興味をもてる内容となつた。	
		E	KPIの達成に向けての事業推進が不十分である。									貸出状況についてインターネットで検索するなど、待機者が表示されるといい。蔵書数の増加を希望する。来館者にアンケートをとって購入蔵書を検討してほしい。	
	今後の方向性	点数換算			3.75	3.75	5	3.75	3.75	3.75	31.3	3.9	●図書館事業については、人口減少の状況の中で、年度別目標値としてR11に向け貸出割合を上げる計画を立てています。これまでも定期的な読み聞かせや図書案内など様々な良い取り組みを行っており評価できます。一方で、目標の貸出割合を上げるためにには、新規利用者や既存利用者の貸出促進を図ることが必要かと思います。そのため、限られた予算の中ではありますが、利用者ニーズを把握して図書の充実を図ることや県出身の作家(例えば網野文絵さん)等を招いたトークショーの開催、さらにオンラインやインスタ等SNSの積極的な活用による広報など、目標達成に向けた取り組みを推進していただければと思います。
		A	事業拡充(さらに発展させるべき)	○				○			2	C	●図書量が少ない 増書が必要(受賞作品等のニーズが大きいもの) 職員の対応がよい
		B	事業改善(内容を見直し取り組むべき)			○					1		●取り組み状況は評価できる(貸出冊数は順調であり) 引き続き、現状の取組みを継続してほしい
		C	事業継続(現状どおり今後も取り組むべき)	○	○	○	○	○	○	○	5		●テーマ展示に期待 ネット貸出しの見直し 六郷、三郷の利用者数が思ったより多いので今後充実させていくらいいと思います。
		D	事業廃止(地方創生に効果がなかったことから、事業をやめるべき)								0		●図書館は町の財産です。三郷と六郷がなくなってしまったのは残念ですが、出張しているということで安心しました。続けてほしいです。 学生が勉強する場としては、月曜日が休館日などが残念です。法令で難しいという話は伺っていますが、「ifセンター」では「学習スペースだけ」などの工夫で開放できたらお願いしたいです。

【進捗状況評価基準】	【進捗状況評価配点】
A 判定 : 5 ~ 4.3	A 判定 : 5
B 判定 : 4.2 ~ 3.5	B 判定 : 3.75
C 判定 : 3.4 ~ 2.7	C 判定 : 2.5
D 判定 : 2.6 ~ 1.9	D 判定 : 1.25

令和7年度市川三郷町総合戦略中間検証

事業概要	評価項目	評価基準		委員A	委員B	委員C	委員D	委員E	委員F	委員G	委員H	合計	平均	全検査委員評価	検証委員意見・評価等
空き店舗活用事業 (産業振興課 商工係)	事業の進捗状況	A	KPIの達成に向けて事業が推進され、十分な効果があった。(良好)									0		D	<ul style="list-style-type: none"> ●住宅併用店舗が多く、空き店舗活用が進みにくい実態があることは理解できた。和紙を使ったスマホケースを企画した大学生や、ワカモノ議会のメンバーなどに働きかけ、出店者の掘り起しを進めたり、青洲高校商業科の生徒に短期的な出店の機会を与えるなど、若者に対して起業の芽や地域への愛着につなげる取組を進めてみてはどうか。また、これらの手段として、甲府市で実施しているチャレンジショップの手法が有効と思われる所以、その検討を期待したい。 ●店を出したいと願う人がいる一方、空き店舗があるにもかかわらず、提供してくれる人が少ないという状況。実のところ貸し手は「めんどくさい」から動かないだけなのではないか。面倒な要素を取り除いた手軽な仕組みがあると良い。さらに貸し手に空き店舗を提供することのメリットをなるべく多く伝えられれば。 「居酒屋ことぶき」が焼失してしまったため、若~中年層が利用する居酒屋がさらに減少した。運動して「コマゲン」の二次会としての利用も減ったと推測できる。町の活性化には居酒屋は大きな役割を果たすため、これを優先的に呼び込む対象としてはどうか。 ●利益が見込まれる業種にしおりで募集するなどぼ工夫若い世代の人のニーズを探る空き店舗の情報をわかりやすく発信、SNSの活用 ●空き店舗活用事業については、地域の活性化や町の魅力向上に直結する大変意義深い取り組みだと感じています。まず、空き店舗を有効に活用するには、活用可能な物件のストックが必要です。現状では、町のホームページで確認できる空き店舗の数が少ない状況にありますので、商工会や関係機関との連携さらに強化し空き店舗情報の収集に努めていただきたいと思います。また、入居希望者と店舗の持ち主との間を取り持つ専門家(コーディネーター)の活用なども含めることで、より円滑に店舗活用が進められるのではないかと思います。今後も地域に根差した実効性のある施策として関係機関と連携し推進していただければと思います。
		B	KPIの達成に向けて事業が推進され、相当程度の成果があった。(概ね良好)	○								1			
		C	KPIの達成に向けて事業が推進されたが、成果が不十分であった。(必ずしも良好とは言えない)			○		○	○	○		3			
		D	KPIの達成に向けて今後の事業の推進を期待する。		○		○			○	○	3			
		E	KPIの達成に向けての事業推進が不十分である。		○							1			
	今後の方向性	点数換算		3.75	0	1.25	2.5	1.25	2.5	2.5	1.25	15	1.9	A	<ul style="list-style-type: none"> ●助成に関する情報提供が不十分に感じる ●家賃交渉等に町が関わるなどの工夫があるとマッチング率が向上すると考えます。 ●空き店舗の活用は無限の可能性があると思います。様々な用途を柔軟に対応していくのが良いと考えます。また、空き店舗だけでなく、空家を活用するなど幅広く事業を展開してほしい。将来の姿を明確にすることも大切だと思います。 ●一般の人にとっては、やはりハードルが少し高いと思います。気軽に始められるように、大家さんとの話し合いで、行政の方で対応していただけるとありがたいです。事業(店)を始める流れから、できればやめる流れまでフローチャートのような感じで一目見てわかるものがあるといいのではないかでしょうか。
		A	事業拡充(さらに発展させるべき)	○		○	○		○		○	5			
		B	事業改善(内容を見直し取り組むべき)		○			○				2			
		C	事業継続(現状どおり今後も取り組むべき)							○		1			
		D	事業廃止(地方創生に効果がなかったことから、事業をやめるべき)									0			

【進捗状況評価配点】

A 判定 : 5
B 判定 : 3.75
C 判定 : 2.5
D 判定 : 1.25

【進捗状況評価基準】

A 判定 : 5 ~ 4.3
B 判定 : 4.2 ~ 3.5
C 判定 : 3.4 ~ 2.7
D 判定 : 2.6 ~ 1.9

令和7年度市川三郷町総合戦略中間検証

事業概要	評価項目	評価基準		委員A	委員B	委員C	委員D	委員E	委員F	委員G	委員H	合計	平均	全検査委員評価	検証委員意見・評価等	
観光施設等の整備・活用推進事業 (産業振興課 観光係)	事業の進捗状況	A	KPIの達成に向けて事業が推進され、十分な効果があった。(良好)									0		C	●歌舞伎、城、桜、相撲の番付表などインバウンドに訴求できる素材はあるので、これらをストーリーとして組み立て独自性を付加したうえで、海外の旅行代理店にセールスするなどの取組を期待したい。	
		B	KPIの達成に向けて事業が推進され、相当程度の成果があった。(概ね良好)				○	○	○		○	4			●歌舞伎文化公園・上野城での甲冑展示や着付けなど、これまでになかった価値を提供できる施設となった。城というランドマークとの親和性も良く、あの地域の歴史を表現したストーリーを創り上げた点はとても評価できる。ただ、飲食する場がないのでカフェの併設は必須ではないか。歌舞伎文化資料館は説明してくれる方の熱意が強く魅力が伝わってくる。YouTubeなどで喋ってもらえば歌舞伎ファンに刺さり来館に繋げられる。素晴らしい資料館であるだけに、内装デザインは刷新が必要(特に壁、床、天井、照明が昭和感を拭えない)。粹で洗練されたデザインにすることで歌舞伎の魅力を最大限に引き出せる。一定の予算は必要になるがそれをする価値のある、ボテンシャルを秘めた施設だと思う。	
		C	KPIの達成に向けて事業が推進されたが、成果が不十分であった。(必ずしも良好とは言えない)	○	○					○		3			●町内に点在する観光施設を結ぶルートづくりをして、1ヶ所だけでなく町全体として観光地めぐりがあるとよい 歌舞伎文化公園の周辺の桜がすばらしいので桜まつりなど企画したらどうか SNSでの情報発信を積極的にしてほしい	
		D	KPIの達成に向けて今後の事業の推進を期待する。			○						1			●観光施設等の整備・活用推進事業については、町の魅力を発信し交流人口を増やしていくうえで、非常に有効な取り組みだと感じています。観光振興においては、情報発信の質と量が大変重要だと思います。SNSを活用した効果的な情報発信をさらに進めるとともに、当町にゆかりのある方々にも協力いただきながら、多面向に発信していくことで、より多くの方に町の魅力を届けられるのではないかと考えます。また、観光と『食』を組み合わせたアプローチも、町の魅力を高めるうえで有効ではないかと思います。地元食材や飲食店との連携など、食を切り口とした企画にも視点を広げていただければ、観光の訴求力がさらに高まると期待しています。	
		E	KPIの達成に向けての事業推進が不十分である。									0			●インバウンド獲得に向けての旅行代理店との連携を強化していくことが必要。 桜祭りの開催はどうか、ライトアップ	
	今後の方向性	点数換算		2.5	2.5	1.25	3.75	3.75	3.75	2.5	3.75	23.8	3.0	A・C	●みたまの湯以外の施設について、知名度不足を感じます。PR強化を。	
		A	事業拡充(さらに発展させるべき)		○	○			○			3			●インバウンド獲得には発信が弱い気がします。大きな観光はないが、あるものを活かしてほしい。 観光ガイドの育成なども大切。 ネットの発信を充実ことも大切な時代 飲食店が少ないので集客にはキッチャンカーを活用するといいのでは。	
		B	事業改善(内容を見直し取り組むべき)	○							○	2			●発信の仕方に尽きると思います。会議の中でも申し上げましたが、お金をかけずということであれば、若者の発信力を利用することに注力すべきではないかと思います。「映えスポット」や「映え商品」が1つでも2つでもあれば、それがきっかけになるのではないかでしょうか。歌舞伎がブーム(映画「国宝」)であれば、隈取メイクや歌舞伎グッズ等で若者が発信したくなる仕掛けをするのも良いと思います。	
		C	事業継続(現状どおり今後も取り組むべき)				○	○		○		3			●発信の仕方に尽きると思います。会議の中でも申し上げましたが、お金をかけずということであれば、若者の発信力を利用することに注力すべきではないかと思います。「映えスポット」や「映え商品」が1つでも2つでもあれば、それがきっかけになるのではないかでしょうか。歌舞伎がブーム(映画「国宝」)であれば、隈取メイクや歌舞伎グッズ等で若者が発信したくなる仕掛けをするのも良いと思います。	
		D	事業廃止(地方創生に効果がなかったことから、事業をやめるべき)									0			●発信の仕方に尽きると思います。会議の中でも申し上げましたが、お金をかけずということであれば、若者の発信力を利用することに注力すべきではないかと思います。「映えスポット」や「映え商品」が1つでも2つでもあれば、それがきっかけになるのではないかでしょうか。歌舞伎がブーム(映画「国宝」)であれば、隈取メイクや歌舞伎グッズ等で若者が発信したくなる仕掛けをするのも良いと思います。	

【進捗状況評価配点】	【進捗状況評価基準】
A 判定 : 5	A 判定 : 5 ~ 4.3
B 判定 : 3.75	B 判定 : 4.2 ~ 3.5
C 判定 : 2.5	C 判定 : 3.4 ~ 2.7
D 判定 : 1.25	D 判定 : 2.6 ~ 1.9

令和7年度市川三郷町総合戦略中間検証

事業概要	評価項目	評価基準		委員A	委員B	委員C	委員D	委員E	委員F	委員G	委員H	合計	平均	全検査委員評価	検証委員意見・評価等	
六郷IC周辺活性化事業 (政策推進課 政策推進係) 【概要】 六郷IC周辺整備は、人口減少が進む六郷地区における重要課題であり、岩間・宮原地区は地域未来投資促進法の重点促進区域に指定されています。また、休業している農工団地跡地の活用をはじめ、周辺の遊休している、またはその可能性のある農地について全庁及び民間企業と協働・協力する中で、民間資金や補助金等を活用した整備を目指します。 【KPI】 誘致企業数 【目標値】 1社 【中間実績値】※9月末 0社 【達成率】 0% 【年度末までの活動内容や課題】 コンサルの飯塚工業より、参入希望企業の紹介があつたため、参入希望企業と誘致までのスケジュールを精査し、インフラ関係の整備を進めいく。	事業の進捗状況	A	KPIの達成に向けて事業が推進され、十分な効果があつた。(良好)					○				1		B	<ul style="list-style-type: none"> ●進出を決めた起業へのきめ細かな支援を操業後も続け、更なる雇用の拡大や他企業の誘致へつなげていくことを期待したい。 	
		B	KPIの達成に向けて事業が推進され、相当程度の成果があつた。(概ね良好)	○	○	○	○		○	○		5			<ul style="list-style-type: none"> ●企業誘致が決まりかけていること。この地域の活性化に向け大きく前進したことは大変喜ばしい。当該企業が地域貢献を口にし、学校や住民を対象とした会社見学なども考えていることはさらに喜ばしく、良い効果を生む要因となりうる。六郷から中学校がなくなることはこの地域を活性化させることへの大きな懸念材料となるが、それを補えるよう将来の働き手となる若い世代を呼び込む施策を併せて考えてゆく必要がある。 	
		C	KPIの達成に向けて事業が推進されたが、成果が不十分であった。(必ずしも良好とは言えない)	○								1			<ul style="list-style-type: none"> ●誘致の推進 	
		D	KPIの達成に向けて今後の事業の推進を期待する。			○						1			<ul style="list-style-type: none"> ●進出企業から申し込みがあったことが、町の活性化に向けて非常に明るい話題であると感じています。 	
		E	KPIの達成に向けての事業推進が不十分である。									0			<p>この機会を、より多くの町内外の方々に知っていただきためにも、マスコミ等を活用し、調印式の機会をつくるて町長と企業による共同記者会見を実施することは、効果的なPRになるのではないかと思います。県や他市町でも同様の取り組みが行われております。また、企業誘致は進出後のフォローアップが非常に重要です。企業訪問などを継続して行い、企業との関係性を密にすることで、当地でのさらなる事業拡大や雇用創出につながることを期待しています。</p>	
	今後の方向性	点数換算		2.5	3.75	1.25	3.75	3.75	5	3.75	3.75	27.5	3.4		<ul style="list-style-type: none"> ●頑張って徐々に増やしてほしい 	
		A	事業拡充(さらに発展させるべき)	○	○	○	○		○			5		A	<ul style="list-style-type: none"> ●進出申出が1社あり、取組みを評価できる。引き続き誘致に向け取り組んでほしい。 	
		B	事業改善(内容を見直し取り組むべき)									0			<ul style="list-style-type: none"> ●誘致だけで考えると相手のあることなので思い通りに進めることだ大変なことですが、一社申出があり期待が膨らみます。活性化という面から考えると誘致のその後の展開が重要。六郷ICがあるというだけしかアピールポイントが無い気がしてその後につながるのか不安に感じます。 	
		C	事業継続(現状どおり今後も取り組むべき)					○		○	○	3			<ul style="list-style-type: none"> ●一社決まった(決まりそう)ということで今後も増えていくといいともいます。 	
		D	事業廃止(地方創生に効果がなかったことから、事業をやめるべき)									0			<p>六郷ICができるから何年もたちます。町が分譲して企業を誘致する方式に関しては検証していただきたいと思います。リニアでも沿線での効果があると思いますが、他の市町村との優位性も必要だと思います。</p>	

【進捗状況評価配点】	【進捗状況評価基準】
A 判定 : 5	A 判定 : 5 ~ 4.3
B 判定 : 3.75	B 判定 : 4.2 ~ 3.5
C 判定 : 2.5	C 判定 : 3.4 ~ 2.7
D 判定 : 1.25	D 判定 : 2.6 ~ 1.9

令和7年度市川三郷町総合戦略中間検証

事業概要	評価項目	評価基準		委員A	委員B	委員C	委員D	委員E	委員F	委員G	委員H	合計	平均	全検査委員評価	検証委員意見・評価等	
子育て世代包括支援センター事業 (子育て支援課 母子保健係) 【概要】 妊娠前～妊娠期～出産～産後～育児期にわたるまでの様々なニーズに対して、すべての妊産婦と子ども・保護者に総合的な相談支援を行います。母子保健・児童福祉の両機能の連携、協働を深め、虐待への予防的な対応から、子育てに困難を抱える家庭まで助言や必要となる支援を行い、また関係機関(保健・医療・福祉・教育など)との連絡調整・連携・繋ぎを行なうなど、切れ目のない支援を提供します。 【KPI】 面談による母子手帳交付率 【目標値】 100% 【中間実績値】※9月末 100% 【達成率】 100% 【年度末までの活動内容や課題】 母子手帳発行数: 28件 面談による発行: 100% 引き続き面談による母子手帳発行をとおし、支援が特に必要な妊婦に対しての関わりを強化していく。	事業の進捗状況	A	KPIの達成に向けて事業が推進され、十分な効果があった。(良好)	○		○	○	○	○	○	○	7		A	<ul style="list-style-type: none"> ●外国人や里帰りの方への対応もきめ細かく行って安心して子育てできる環境を作り出せている。 今後も、見守られているという安心感を与えていってもらいたい。 ●このまま献身的な対応を続けていただくことで「子育てしやすい町」の評価は高まる。 政策推進係長の意見にあったように、鉄道の駅が多く、保育園、学校(小・中・高)、病院、スーパーなどが軒並んでおり、等の利便性を併せてPRしてゆくことで更に良い相乗効果をもたらすのではないか。 ●母子手帳の発行時に出産後の町の支援について詳細に説明してほしい 母子手帳発行時に担当のPHNをきめてサポート体制があることをアピールする ●子育て世代包括支援センター事業については、当町に転入された方や、転出される方に対しても切れ目のない支援の継続が行われている点も意義深く感じます。地域に寄り添った、きめ細やかな取り組みが継続されていることを評価したいと思います。 また、現在は支援者数から見て直接支援が可能であるとのことです、今後は子育て世代のニーズが一層多様化していくことが予想されます。より幅広い世代やライフスタイルに対応できるよう、将来に向けアプリなどデジタルツールの活用についても検討いただければと思います。 本事業が、子育てしやすい町づくりをさらに推進する基盤として、今後も充実していくことを期待しています。 	
		B	KPIの達成に向けて事業が推進され、相当程度の成果があった。(概ね良好)		○							1				
		C	KPIの達成に向けて事業が推進されたが、成果が不十分であった。(必ずしも良好とは言えない)									0				
		D	KPIの達成に向けて今後の事業の推進を期待する。									0				
		E	KPIの達成に向けての事業推進が不十分である。									0				
	今後の方向性	点数換算		5	3.75	5	5	5	5	5	5	38.8	4.8	C	<ul style="list-style-type: none"> ●外国人に対しても個別対応している 他市町村の模範になっていることを広報紙住民の増加につなげる ●現状のとおり取り組むべき ●デジタルにたよらず対面が大切な事業だと思います。 個々に時間をかけて対応してくださっているのが良い。 小児科が少ないので保健師さんが頼りになるのは心強い。 ●すばらしい取り組みだと思います。維持してほしいと思います。 他の市町村との差別化をはかる事業だと思います。PRのやり方を考えてほしいです。 定住を考えている人には売り文句になると思います。 	
		A	事業拡充(さらに発展させるべき)	○	○	○						3				
		B	事業改善(内容を見直し取り組むべき)									0				
		C	事業継続(現状どおり今後も取り組むべき)			○	○	○	○	○	○	5				
		D	事業廃止(地方創生に効果がなかったことから、事業をやめるべき)									0				

【進捗状況評価配点】	【進捗状況評価基準】
A 判定 : 5	A 判定 : 5 ~ 4.3
B 判定 : 3.75	B 判定 : 4.2 ~ 3.5
C 判定 : 2.5	C 判定 : 3.4 ~ 2.7
D 判定 : 1.25	D 判定 : 2.6 ~ 1.9

令和7年度市川三郷町総合戦略中間検証

事業概要	評価項目	評価基準		委員A	委員B	委員C	委員D	委員E	委員F	委員G	委員H	合計	平均	全検査委員評価	検証委員意見・評価等	
健康づくり対策事業 (いきいき健康課 健康増進係)	事業の進捗状況	A	KPIの達成に向けて事業が推進され、十分な効果があった。(良好)									0		B	<ul style="list-style-type: none"> かかりつけ医での受診の更なる拡大や、受診者へのインセンティブの付与を検討してもらいたい。 受診・未受診の違いによる、その後の健康状況・疾病の罹患率などを調査し、受診の必要性を数値面などから客観的に訴えてみる取組を期待したい。 	
		B	KPIの達成に向けて事業が推進され、相当程度の成果があった。(概ね良好)	○	○	○	○	○	○	○	○	8			<ul style="list-style-type: none"> 受診しないことを望んでいる人に受診することを促すのは難しい。モノで釣つて来てもらっている地域もあるとの話が出たが、受診会場が楽しくて行きたい場であればいいかもしれません。 	
		C	KPIの達成に向けて事業が推進されたが、成果が不十分であった。(必ずしも良好とは言えない)									0			<ul style="list-style-type: none"> 受診しないことを望んでいる人に受診することを促すのは難しい。モノで釣つて来てもらっている地域もあるとの話が出たが、受診会場が楽しくて行きたい場であればいいかもしれません。 	
		D	KPIの達成に向けて今後の事業の推進を期待する。									0			<ul style="list-style-type: none"> ●受診しないことを望んでいる人に受診することを促すのは難しい。モノで釣つて来てもらっている地域もあるとの話が出たが、受診会場が楽しくて行きたい場であればいいかもしれません。 ●健診送迎バスの巡回 受診した後のフォローアップ体制を示し受けっぱなしを防ぐ 	
		E	KPIの達成に向けての事業推進が不十分である。									0			<ul style="list-style-type: none"> ●健康づくり対策事業については、住民の健康保持に向けて様々な取り組みが進められている点を評価しております。 一方で、特定健診を受診したくても、仕事や家庭の事情などで会場に行けない方も一定数おられるのではないかと思います。検診バスの活用や出張検診の実施など、受診しやすい環境づくりについて、前向きに検討していただければと思います。また、特定健診は生活習慣病リスクの把握が中心と伺っていますが、その早期発見の重要性を住民の皆さんにより理解していただくことも大切です。受診した場合と受診しない場合の比較など、具体的な効果を示す資料やアイキャッチを用いたPRなども活用し、受診率向上につなげていただければと考えます。(もし未実施であれば、ご検討いただければと思います。)今後も、健康づくりに主体的に参加しやすい環境が整うことを期待しています。 	
	今後の方向性	点数換算		3.75	3.75	3.75	3.75	3.75	3.75	3.75	3.75	30	3.8	C	<ul style="list-style-type: none"> ●特定健診、がん検診に関して受診率は概ね良好である ●健診会場へのバスなどがあると受診率が上がるのでは。 個人の考え方や認識があり引き続き健診の重要性を発信していくしかない。 ●健診会場へのバスなどがあると受診率が上がるのでは。 個人の考え方や認識があり引き続き健診の重要性を発信していくしかない。 ●健診会場へのバスなどがあると受診率が上がるのでは。 個人の考え方や認識があり引き続き健診の重要性を発信していくしかない。 	
		A	事業拡充(さらに発展させるべき)									0			<ul style="list-style-type: none"> ●特定健診、がん検診に関して受診率は概ね良好である ●健診会場へのバスなどがあると受診率が上がるのでは。 個人の考え方や認識があり引き続き健診の重要性を発信していくしかない。 ●健診会場へのバスなどがあると受診率が上がるのでは。 個人の考え方や認識があり引き続き健診の重要性を発信していくしかない。 ●健診会場へのバスなどがあると受診率が上がるのでは。 個人の考え方や認識があり引き続き健診の重要性を発信していくしかない。 	
		B	事業改善(内容を見直し取り組むべき)		○					○		2			<ul style="list-style-type: none"> ●特定健診、がん検診に関して受診率は概ね良好である ●健診会場へのバスなどがあると受診率が上がるのでは。 個人の考え方や認識があり引き続き健診の重要性を発信していくしかない。 ●健診会場へのバスなどがあると受診率が上がるのでは。 個人の考え方や認識があり引き続き健診の重要性を発信していくしかない。 ●健診会場へのバスなどがあると受診率が上がるのでは。 個人の考え方や認識があり引き続き健診の重要性を発信していくしかない。 	
		C	事業継続(現状どおり今後も取り組むべき)	○		○	○	○		○	○	6			<ul style="list-style-type: none"> ●特定健診、がん検診に関して受診率は概ね良好である ●健診会場へのバスなどがあると受診率が上がるのでは。 個人の考え方や認識があり引き続き健診の重要性を発信していくしかない。 ●健診会場へのバスなどがあると受診率が上がるのでは。 個人の考え方や認識があり引き続き健診の重要性を発信していくしかない。 ●健診会場へのバスなどがあると受診率が上がるのでは。 個人の考え方や認識があり引き続き健診の重要性を発信していくしかない。 	
		D	事業廃止(地方創生に効果がなかったことから、事業をやめるべき)									0			<ul style="list-style-type: none"> ●特定健診、がん検診に関して受診率は概ね良好である ●健診会場へのバスなどがあると受診率が上がるのでは。 個人の考え方や認識があり引き続き健診の重要性を発信していくしかない。 ●健診会場へのバスなどがあると受診率が上がるのでは。 個人の考え方や認識があり引き続き健診の重要性を発信していくしかない。 ●健診会場へのバスなどがあると受診率が上がるのでは。 個人の考え方や認識があり引き続き健診の重要性を発信していくしかない。 	

【進捗状況評価配点】	
A 判定	: 5
B 判定	: 3.75
C 判定	: 2.5
D 判定	: 1.25

【進捗状況評価基準】	
A 判定	: 5 ~ 4.3
B 判定	: 4.2 ~ 3.5
C 判定	: 3.4 ~ 2.7
D 判定	: 2.6 ~ 1.9

令和7年度市川三郷町総合戦略中間検証

事業概要	評価項目	評価基準		委員A	委員B	委員C	委員D	委員E	委員F	委員G	委員H	合計	平均	全検査委員評価	検証委員意見・評価等	
ホームページ運用事業 (総務課 広聴広報係) 【概要】 社会のデジタル化に伴い、行政サービスや観光情報など自治体ホームページから入手する人が増えていることから、安全な情報管理を基本とし、誰もが欲しい情報を見つけやすく、見やすいホームページを運営し、利用促進を目指します 【KPI】 町ホームページアクセス件数 【目標値】 502,000件 【中間実績値】※9月末 228,131件 【達成率】 45% 【年度末までの活動内容や課題】 SNS発信とのさらなる連携強化を図るとともに、市川三郷町に興味関心を持つてもらうための仕掛けづくりについて研究していきたい。	事業の進捗状況	A	KPIの達成に向けて事業が推進され、十分な効果があった。(良好)									0		C	<ul style="list-style-type: none"> ●HPのみでなく各種SNSも一体的に捉えたうえで、発信する情報のターゲットに伝わりやすい媒体を戦略的に選択して情報発信するよう努めてもらいたい。 	
		B	KPIの達成に向けて事業が推進され、相当程度の成果があった。(概ね良好)					○	○	○	○	4			<ul style="list-style-type: none"> ●LINE→HPという流れができるで良い。LINE登録者数を増やすことがHPアクセス数アップにつながる。HPは古さを感じるがリニューアルを予定していることなので期待したい。現状で言えば、トップページから情報を詰め込み過ぎている印象を受ける。見たいと思ってもらえるデザインに変えていく必要がある。中央市のHPが適度におしゃれで適度に行政らしく、とても見やすいので参考になるかもしれない。知りたいこと、調べたいことが大枠でカテゴライズされていて見やすくわかりやすい。加えて、楽しくて遊び心のある要素を取り入れ活発な町であることを印象付けたい。 	
		C	KPIの達成に向けて事業が推進されたが、成果が不十分であった。(必ずしも良好とは言えない)	○		○						2			<ul style="list-style-type: none"> ●HPだけでなく、SNS(Facebook、インスタ、エックス、ティックトック)での発信をしてほしい町内在住のおえかきクリエイターの活用 	
		D	KPIの達成に向けて今後の事業の推進を期待する。		○	○						2			<ul style="list-style-type: none"> ●町のホームページについては、私自身も仕事や個人的な場面で利用することがありますが、トップページに新着情報、トピックス、暮らしの情報、行政情報などが整理されており、用途に応じて情報を探しやすく、比較的わかりやすい構成になっていると感じています。一方で、住民の中には見る視点や利用目的によって“わかりづらい”という声もあるようです。より多くの方に使っていただくためにも、広く利用者の意見を聞きながら、また役場内部でも職員の皆さん自身が実際に利用して使い勝手を検証するなど、必要に応じて改善を図っていただければと思います。 	
		E	KPIの達成に向けての事業推進が不十分である。									0			<ul style="list-style-type: none"> ●必要な情報を探しにくい 役場以外の一般人を活用して情報収集したほうが良い 	
	今後の方向性	点数換算		2.5	1.25	1.25	2.5	3.75	3.75	3.75	3.75	22.5	2.8	A・C	<ul style="list-style-type: none"> ●デジタルやSNSの時代ではありますが、高齢者が多い町であることを忘れないでほしい。今のホームページが特に不便に感じたことはないが、改善できるところは見直していくべきだと思います。 	
		A	事業拡充(さらに発展させるべき)		○	○			○			3			<ul style="list-style-type: none"> ●他市町村のホームページを参考にするのはいいが、市川三郷町らしさを見つけていけばより良いのではないかと思います。 	
		B	事業改善(内容を見直し取り組むべき)	○							○	2			<ul style="list-style-type: none"> ●課ごとの表示はHPとしては見にくいと思います。事業や施策、担当ということに関しては、課ごとに分けるのが役所側からの作り方(表示の仕方)だとは思いますが、町民からすると、例えば、粗大ごみはいつだけ?→何課?環境課?とかってあっただけ?みたいな感じです。町民が知りたいこと、町外の人が見たいことに見出しを付けるような形でHPづくりをしてほしいです。 	
		C	事業継続(現状どおり今後も取り組むべき)				○	○		○		3			<ul style="list-style-type: none"> ● 	
		D	事業廃止(地方創生に効果がなかったことから、事業をやめるべき)									0			<ul style="list-style-type: none"> ● 	

【進捗状況評価配点】	【進捗状況評価基準】
A 判定 : 5	A 判定 : 5 ~ 4.3
B 判定 : 3.75	B 判定 : 4.2 ~ 3.5
C 判定 : 2.5	C 判定 : 3.4 ~ 2.7
D 判定 : 1.25	D 判定 : 2.6 ~ 1.9